

天皇、皇后両陛下 道後温泉本館をご視察

えひめ国体開会式ご臨席のため24年ぶりに愛媛県を訪問されていた天皇、皇后両陛下が10月1日、道後温泉本館を視察されました。

野志市長・栗原市議会議長に迎えられた両陛下は、国の重要文化財である本館の特徴や歴史について説明を聞かれ、塔



出迎えた市民に笑顔で応えられる両陛下

屋の上の白鷺を探されると、「ここまでくると白鷺がよく見えるのですね」と話されるなど、興味深くご覧になられました。また周辺に集まった大勢の市民らに笑顔で応えられました。



説明を熱心に聞かれる両陛下

国体総務課 ☎ 909 7843
FAX 909 7850

第4分湯場オープニングセレモニー

道後温泉第4分湯場を改築し、手湯を設置

道後温泉駅北西にある道後温泉第4分湯場を改築し、道後温泉の源泉に手で触れることのできる「手湯」や、源泉が貯湯槽に落ちる様子を見学できるスペースなどが新たに設置されました。

11月1日に行われたオープニングセレモニーで野志市長は「源泉を直接目で見て手で触れることのできるこの施設が道後温泉の新たな魅力となることで、道後地区の滞在性と回遊性を高めた」と期待を寄せました。



道後温泉事務所 ☎ 921 5141
FAX 934 3415

県総合防災訓練

11月5日、県総合防災訓練が行われ、北条文化の森公園のメイン会場



救援物資供給訓練の様子

のほか、五明地区や高浜地区などサブ会場8会場で、147機関の団体や市民ら約7,700人が参加しました。訓練は、大雨での土砂災害と大規模地震の複合災害で被害が

県と3市3町が主催し 約7,700人が参加

発生したことを想定して行われ、自衛隊、海上保安部、警察、消防、県市町などが、救出・救助訓練、行方不明者の捜索訓練、救援物資供給訓練や孤立地区対策訓練などを同時進行で実施しました。

訓練終了後、野志市長は、市民一人一人が「家具の固定」と「1週間分の備蓄」を行うよう呼びかけ、災害に対し「正しく恐れてしっかり備える」ことへの理解と協力を求めました。

国危機管理課 ☎ 948 6794
FAX 934 1813

15周年りっくる祭を開催

本市のごみ減量・リサイクルの啓発拠点、まつやまRe・再来館(愛称「りっくる」)は、今年で開館15周年を迎え、さらに多くの市民の皆さんに「りっくる」を知ってもらうため、10月22日に「15周年りっくる祭」を開催しました。



使わなくなったCDを利用したコマ作り

当日はリサイクル家具の販売、廃材を利用したグッズや手作りクッキーの無料配布、ワークショップなどさまざまな催しを行いました。

たくさんのご来場 ありがとうございます

「15周年りっくる祭」を機にリサイクルの大切さや地球温暖化防止に興味・関心を持ってほしいです。「りっくる」ではさまざまな講座を随時開催していますので、皆さん、ぜひお越しください。

まつやまRe・再来館 館長 吉田 啓二さん

環境モデル都市推進課 ☎ 948 6344
FAX 934 1861

平成29年度 松山愛郷会を開催

関東地区在住の松山出身者などで構成する松山愛郷会の総会と懇親会が10月19日、東京都で開催されました。平成2年に発足した松山愛郷会も今年で28周年を迎え、特に学生など松山出身の若者が集う「松山愛郷会youth」約30人を含む約280人が参加。



松山愛郷会youthと野志市長

会には、飛鳥乃湯泉の内装装飾品で使われている愛媛の伝統工芸を紹介する作品や新たにまつやま農林水産物ブランドに認定されたグニーユーカーリを展示したほか、鍋焼きうどんなどのふるさとの味コーナーを設置しました。

松山愛郷会 ☎ 934 3262
FAX 03 3239 6996

「100年経っても、LOVEまつやま」 まつやまの未来にロックオン!

第34回まつやま市民シンポジウムを開催

市民と行政が共にまちづくりについて考え、行動するきっかけづくりの場にするため、10月22日に「第34回まつやま市民シンポジウム」を(公社)松山青年会議所と本市が共同で開催しました。



講演する尾木ママ

記念講演では、教育評論家の尾木ママこと尾木直樹さんが「子どもたちが未来に希望を持てるまち」について講演しました。

尾木さんは国内外の若者によるまちづくりの先進事例などを紹介しながら「大切なことは子どもたちが主体となって積極的に取り組むこと。まちづくりに子ども視点を取り入れることが大事」と語りました。

あわせて分科会ブースを設け、子規・漱石生誕150年を記念した公募市民による演劇「マサオカノボルの輪郭」の上演や骨髄バンクドナー登録会、料理教室やロープワークなどさまざまなイベントを実施しました。

記念講演を聞いて... 子どもたちの教育の参考に

子どもたちをどんなふうにも教育すればよいかと参考になりました。学んだことを生かして、子どもたちがうまく成長できるようにアドバイスを送っていきたくと思います。



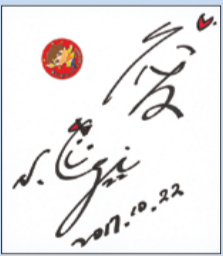
戸田健太さん家族 (伊予市)



市民演劇の様子

企画戦略課 ☎ 948 6213
FAX 934 1804

読者プレゼント



尾木ママのサイン色紙を抽選で3人にプレゼント

応募先 〒790-8571 シティプロモーション推進課「尾木ママプレゼント」係
はがきに郵便番号、住所、氏名、年齢、電話番号、広報紙への意見を書いて、12月25日(月) (必着)までにお送りください。当選者の発表は発送をもって代えさせていただきます。